

YAMAHA

4サイクルトレール

LIGHT WEIGHT TRAIL

XT200



意のままに、大地を攻める。



LIGHT WEIGHT TRAIL

98kg
DRY WEIGHT



ライダーとひとつになってオフロードを攻めるマシンは、何よりもまず軽量・コンパクトでなければならない。その上で、十分なパワーをもたなければ、トレールの名に値しない。ヤマハのオフロード・コンセプトが生んだトレールの名車XT200。オフローダー達からベスト・パートナーとして賞賛されたこのマシンが、さらにポテンシャルを高めた。軽量98kg(乾燥重量)のウェイト、低中速から十分なパワーを発揮する4ストローク・196ccエンジン。全身に野生味を加えて、いま遅しく大地を駆ける。XT200。この一台はライダー達に、オフロード・ランの快感を被露するに違いない。

LIGHT WEIGHT 98kg
軽量・コンパクトな設計が、意のままの走りを生む。

POWERFUL 18ps
したたかなパワーが、大地を捉える。

WELL-FORMED
オフロード機能の追求が、このカタチを生んだ。

SAFELY
オフロードを、心ゆくまで攻めるために。

ライトウェイト98kg(乾燥重量)。
低中速からパワフルな4ストローク単気筒196ccエンジン。
XT200ならテクニックを100%発揮できる。

LIGHT WEIGHT 98kg

軽量・コンパクトな設計が、
意のままの走りを生む。

ライダーの意のままにコントロールできる、パワフルなトレールマシン。それがXT200に与えられた開発コンセプトでした。そのため、車体の軽量・コンパクト化を不可欠のものとして設計。4ストローク200ccのエンジンを搭載しながら車重は100kgを割ることを目標に、マシン全体で徹底した軽量化を図りました。例えば軸式ダイナミックバルンサーを内蔵したことによって、エンジン振動対策のための部品や補強を大幅に削減できたこと。高張力鋼管のダイヤモンドフレームを採用したことや、シリンダーヘッドとヘッドカバーの一体化。中空アルミの採用。さらにはヘッドランプの樹脂製レンズ、新型の軽量フラッシャーの採用など、車体全般にわたって徹底的に軽量化。乾燥重量98kgという驚くべき数字を達成しました。一方、

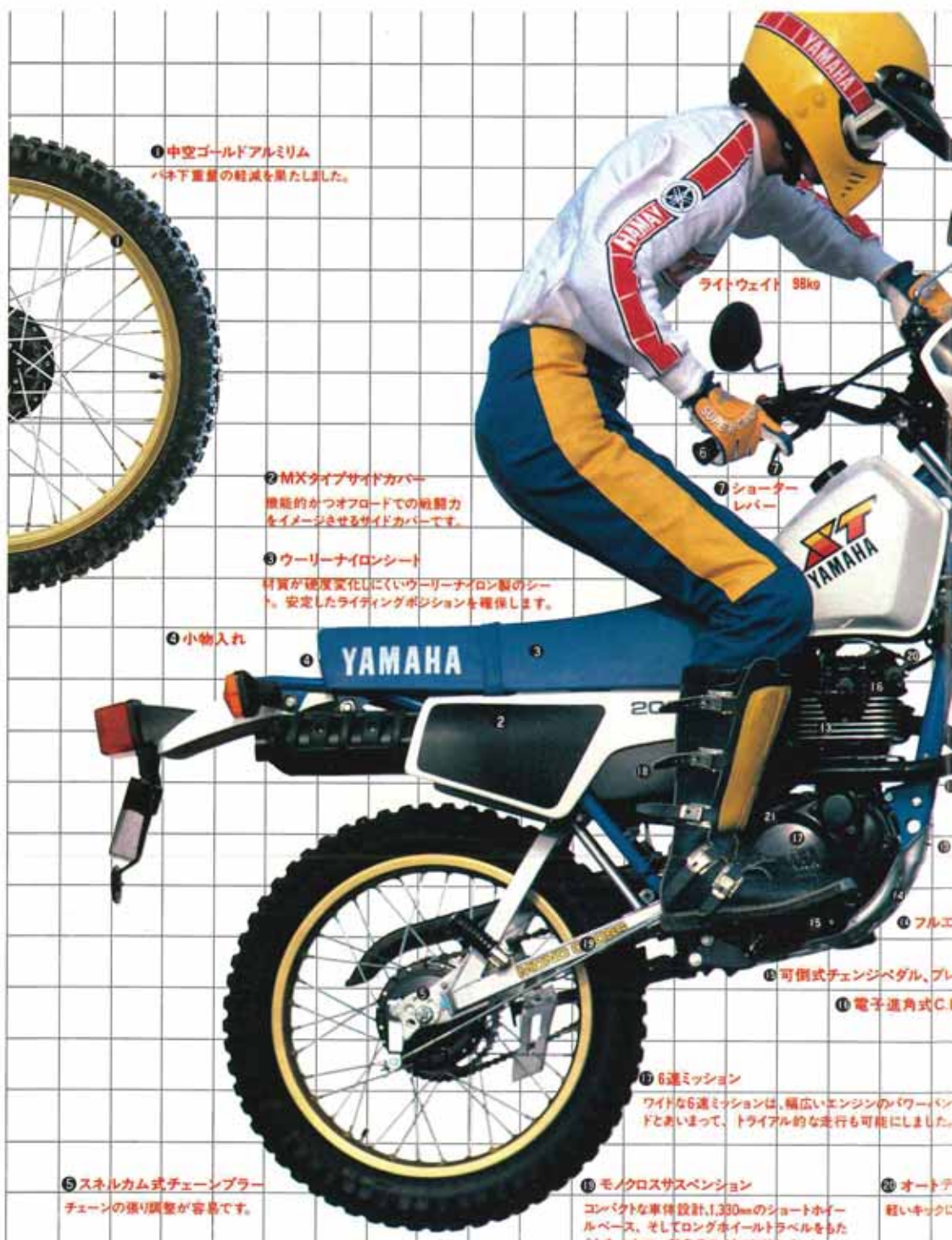
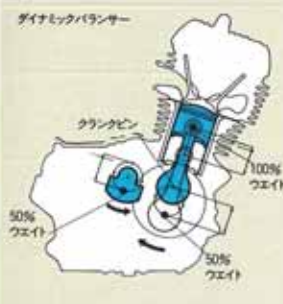
車体はXT125をベースとしたコンパクト設計。モトクロスなどでその実力を知られるコンパクトなモノクロスサスペンションは、1330mmのショートホイールベースを実現。軽快な取りまわしをライダーにもたらししました。また、フロントには、揺動部にDuメタルを採用したエアスプリング併用式サスペンションを装備し、作動性をも向上。ホイールトラベルにおいてはフロント205mm、リヤ180mmというひとクラス上の数値を実現。卓越したオフロード走破性をライダーにもたらし。また、これだけのホイールトラベルを持ちながら835mmという低シート高を達成。すぐれた足着き性が群を抜く操縦安定性を約束します。まさに、意のままに大地を攻めるオフロード達のパートナー。それがXT200です。

POWERFUL 18ps

したたかなパワーが、大地を捉える。

XT200の心臓部は、幅広いパワーバンドを誇る4ストロークOHC単気筒196ccエンジン。18ps/8,500r.p.m.のパワーと1.6kg-m/7,000r.p.m.のトルクを無理なく発揮するパワーユニットには、新たに24φキャブレターを採用し、加速フィーリング、レスポンスにくわえて暖機時の再始動性、高地での出力安定性などの向上を果たしました。さらにXT200のパワーユニットで特筆すべ

きは、軽量のボディ、オフロード・ランでの快適性などを実現するため、軸式ダイナミックバルンサーを内蔵したこと。大幅な振動の低減は、快適性を高めたばかりか振動対策の負担をも軽減し、車体の軽量化に大きく貢献しました。一方、ミッションはワイドレシオの6速。幅広いパワーバンドを持つエンジンとあいまって、トライアル的な走行も十分可能です。点火方式は電子進角式C.D.I.点火。力強く確実な点火は60km/ℓ(50km/h定地走行テスト、運輸省届出値)という抜群の低燃費に役かっています。またオートデコンプの採用により、女性にも始動しやすい軽いキックを実現。もちろん摩耗に強い焼結チップ焼着のロッカーアームを採用するなど、エンジンの耐久性対策は万全です。オートカムチェーンテンショナーも新たに採用し、静粛性を大きく向上させました。



① 中空ゴールドアルミリム
パイナ重量の軽減を果しました。

ライトウェイト 98kg

⑥ YZタイプグリップ

③ ヘッドライトカウル
精悍なMX風のヘッドライトカウルです。

④ 軽量樹脂レンズ

35W/35Wのヘッドランプには、軽量の樹脂製レンズを採用。軽量フラッシャーやホーンをフレーム部に移動したことなどとともにステアリングまわりの軽量化をはかりました。

⑤ 大型フロントフェンダー

スパー対する樹脂製大型フロントフェンダー。泥はねの防止に大きな効果を発揮します。

⑦ サイドブルスロットル
転倒時などにダメージを受けにくい、YZと同様の方式です。

② MXタイプサイドカバー
機能的かつオフロードでの耐擦力をイメージさせるサイドカバーです。

③ ウーリーナイロンシート

材質が硬度変化しにくいウーリーナイロン製のシート。安定したライディングポジションを確保します。

④ 小物入れ

⑦ ショーター
レバー

⑧ フロントフォークブーツ

⑨ 分割レバーホルダー

⑩ 小型・軽量フラッシャー

⑪ 三層ニッケルメッキ
エキゾーストパイプ

⑫ オートカムチェーン
テンショナー

⑬ フルエンジンプロテクター

⑭ 可倒式チェンジペダル、プレーキペダル

⑮ 電子連角式C.D.I.点火

⑯ 6速ミッション

ワイドな6速ミッションは、幅広いエンジンのパワーバンドをカバーし、トライアル的な走行も可能にしました。

⑰ レクチファイヤーレギュレーター

過充電を防ぐレクチファイヤーレギュレーターにより、バッテリーやバルブの寿命を延ばしました。

⑲ Duメタル採用・大径35mmセミエアフロントフォーク
ホイールダブル205mmとひとクラス上の数値を実現したフロントフォーク。摺動部にDuメタルを採用し作動性を向上させました。

⑳ スネルカム式チェーンブレイ
チェーンの張り調整が容易です。

㉑ モノクロスサスペンション

コンパクトな車体設計、1,330mmのショートホイールベース、そしてロングホイールトラベルをもたしました。ヤマハ独自のモノクロスサスペンション。

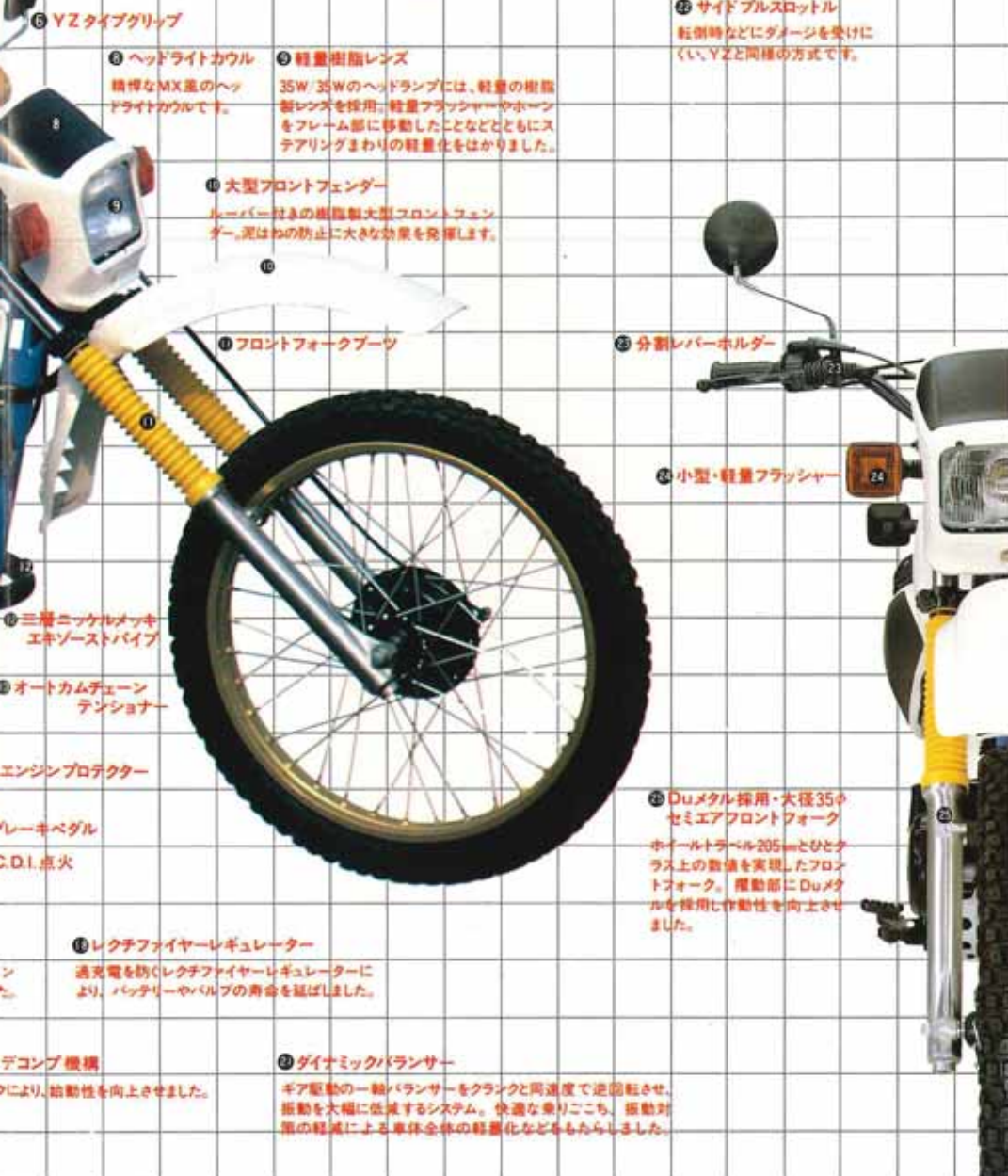
㉒ オートデコンプレッサー機構

軽いキックにより、始動性を向上させました。

㉓ ダイナミックバルンサー

ギア駆動の軸バランサーをクランクと同速度で逆回転させ、振動を大幅に低減するシステム。快適な乗りこころ、振動対策の軽減による車体全体の軽量化などももたらしました。

LIGHT WEIGHT TRAIL XT200



⑥ YZタイプグリップ

③ ヘッドライトカウル
精悍なMX風のヘッドライトカウルです。

④ 軽量樹脂レンズ

35W/35Wのヘッドランプには、軽量の樹脂製レンズを採用。軽量フラッシャーやホーンをフレーム部に移動したことなどとともにステアリングまわりの軽量化をはかりました。

① 大型フロントフェンダー

ルーバー付きの樹脂製大型フロントフェンダー。泥はねの防止に大きな効果を発揮します。

⑩

⑧ フロントフォークブーツ

⑫ 分割レバーホルダー

⑭ 小型・軽量フラッシャー

⑮ Duメタル採用・大径35mmセミエアフロントフォーク
ホイールトラベル205mmとひとクラス上の数値を実現したフロントフォーク。駆動部にDuメタルを採用し作動性を向上させました。

⑬ レクチファイヤーレギュレーター

過充電を防ぐレクチファイヤーレギュレーターにより、バッテリーやバルブの寿命を延ばしました。

デコンプ機構

により、始動性を向上させました。

⑯ ダイナミック balanser

ギア駆動の一軸 balanser をクランクと同速度で逆回転させ、振動を大幅に低減するシステム。快適な乗りこち、振動対策の軽減による車体全体の軽量化などをもたらしました。

② サイドブルスロットル
転倒時などにダメージを受けない、YZと同様の方式です。

WELL-FORMED オフロード機能の追求がこのカタチを生んだ。

見るからに野性的なXT200のスタイリング。オフロード機能を追求して生まれた力強いフォルムです。大型化した樹脂製のルーバー付フロントフェンダー。ブーツを装着したフロントフォーク。ゼッケンプレートタイプの樹脂製サイドカバー。精悍なヘッドライトカウル。また前後の中空アルミリムはゴールド仕上げとするなど、あくまで機能的でありながら、迫力あるスタイリングも重視しました。またカラーリングはXT250T

と共通のダイナミックなもの。見る人にオフロードでのポテンシャルを印象づけずにはおきません。



SAFELY オフロードを、心ゆくまで攻めるために。

- スロットルはYZと同様で、転倒時のダメージが少ないサイドブルスロットル。
- 整備が容易な分割式レバーホルダーを新採用。
- 各種インジケーターを機能的にレイアウトしたメーターパネル。軽量で、取りまわしの軽さにも貢献しています。
- ハンドルロックはメインスイッチ一体式。
- ブレーキペダル、チェンジペダルは可倒式を採用。転倒時の曲がりやを防止します。
- ホーンはステアリングまわりからフレームへ移し、ハンドリングの向上に役かっています。
- 軽量の樹脂製レンズを採用したヘッドランプは35W/35Wと明るさも十分。
- バックミラーは左右に装備。林道走行を考慮して、ハンドル幅の中に収めています。
- ルーバー付大型フロントフェンダー。
- レバーはプッシュ等のひっかかりを防ぐショーターレバーを採用。林道走行も安心です。
- 万一の転倒時や小枝の接触時にも破損にくいフ

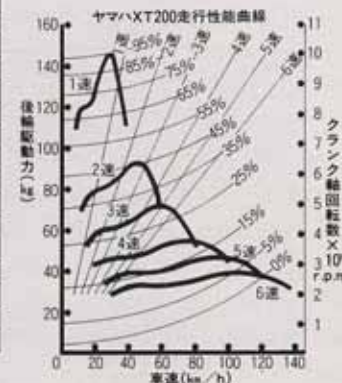
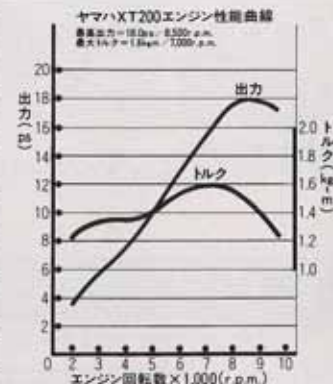
- レキシブルフラッシャーランプを装備しました。
- 錆びにくい三層ニッケルメッキ処理のエキゾーストパイプ。アルスター鋼版のマフラー
- ウーリーナイロン製シート。
- 大容量7.3ℓのフエルトンク。休日の走行や長距離ツーリングなどで威力を発揮します。
- 過充電を防ぐレクチファイヤーレギュレーターを採用。バッテリーやバルブの寿命が大きく向上。
- バッテリー上がりを防ぐため、バッテリー充電性能を向上。
- フルエンジンプロテクターがエンジンをガード。
- チェーンカバー、チェーンガードを採用。
- スネルカム式チェーンブラスを装備し、チェーンの調整をきわめて容易にしています。
- リムは前後とも軽量で衝撃に強い中空アルミリムを採用。軽やかな足まわりを実現。
- タイヤはフロントに2.75-21-4PR、リヤに4.10-18-4PRを装着。

XT200

- 標準現金価格¥285,000(北海道および沖縄を除く)
- ホワイト/スペースブルー



XT 200 仕様諸元	
機種コード	47J
全長/全幅/全高	2115mm/845mm/1155mm
軸間距離	1330mm
シート高/最低地上高	835mm/265mm
乾燥重量	99kg
燃費・定地走行テスト値	60.0km/l (50km/h)
最小回転半径	2200mm
制動停止距離	14m (50km/h)
エンジン種類	4サイクル・DHC
気筒数配列/総排気量	単気筒/196cc
内径×行程	67.0mm×55.7mm
圧縮比	9.5:1
最高出力	18ps/8,500rpm
最大トルク	1.6kg-m/7,000rpm
駆動方式	キック式
点火方式	C.D.I.
燃料タンク容量	7.3ℓ
オイル容量	1.3ℓ
潤滑方式	強制送油式ウェットサンプ
バッテリー容量/型式	6V, 4Ah (10)/5N4A-4D
1次減速機構/減速比	ギヤ/3.318 (73/22)
2次減速機構/減速比	チェーン/3.000 (45/15)
クラッチ形式	遠心多板
変速機形式	リターン式5段
変速比	2.923/1.888/1.428/1.125/0.925/0.793
フレーム形式	鋼管ダイヤモンド
キャスト/トレール	27°35'/106mm
タイヤサイズ・前/後	2.75-21-4PR/4.10-18-4PR
制動装置・前	機械式ドラムブレーキ
制動装置・後	機械式ドラムブレーキ



●燃費は定められた試験条件のもとでの値です。従って走行時の気象・道路・車両・整備などの諸条件によって異なります。●本仕様は予告なく変更することがあります。●仕様変更などにより、写真や内容が一部実車と異なる場合があります。●ボディカラーは印刷のため、実物と異なって見える場合があります。



ヤマハライディングスクール セーフティライディングのために、確かなテクニックの習得に、ヤマハライディングスクール(YRS)に参加しませんか。
●SUGOを舞台に1泊2日の本格トレーニングを行なうYRS in SUGO。●筑波サーキット、袋井ヤマハコースでの中・高速走行トレーニングが確かな技術を培うYRSサーキットランコース。●オフ

ロード走行によって安全運転の基礎を養うYRSオフロードコース。
●教習所等で日常に即した技能を身につけるミニYRS。
お申込み・お問合せは、最寄りのヤマハ販売店へ。

新しいバイクの買い方です。簡単な手続きとわずかな現金があれば最長20回までの分割払いでお好みのバイクがすぐ手に入る。月々の支払い方法もお好み次第。幾通りのコースから自由に選べる便利さです。

手続きが簡単
支払がらく
ヤマハ
らくらくクレジット

モーターショップ トム

〒154 東京都世田谷区駒沢 2-11-6
246店 TEL(03)(416)2560

ヤマハ発動機株式会社
〒438 静岡県静岡市新井2500
TEL(05383)21111

YAMAHA

8407-30D1④-011253

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

★ヘルメットを正しくかぶりましょう。安全速度で走りましょう。カーブではスピードをゆめいめに。
★点検・整備を忘れずに。無理な追い越しはやめましょう。よく見るよく見られることに努めましょう。
★安全のため改造はやめましょう。早朝・夕暮れは早めにヘッドライトの点灯を。
ヤマハライディングスクールで、正しいライディングテクニックをマスターしましょう。